

平成 29 年度 事業報告

平成 29 年度は、社会福祉法人制度改革に伴う定款・役員体制の変更を行い新たな法人運営の基盤のもと、経営組織のガバナンスと財務規律の強化を図り、公益性・非営利性を備えた法人本来の在り方を再認識し事業を実践した一年でした。

総合支援事業においては、地域福祉実践計画の基本計画である「地域や行政と協働した福祉のまちづくり」の取り組みとして、「ふれあいサロン」「あんしん生活サポート事業」の拡充を実践するとともに、安否確認の更なる充実を図るため「かぎ預かり事業」を開始しました。

また、市内 7 か所の地域包括支援センターと連携し、地域ケア会議等において個別ケースや地域が抱える様々な課題解決に向けた取り組みを展開しました。

市民相談事業では「平成 26 年度第 1 回市民後見人養成講座」修了の後、実務研修の期間を経て 5 人の市民後見人が誕生し、一定の成果が得られ、「日常生活自立支援事業」及び「法人後見事業」と併せて支援体制の強化を図ることができました。

ボランティア事業では、市の「総合防災実働訓練」に併せて「災害ボランティアセンター」の設置訓練を行い、設置・運営マニュアルの見直しを行いました。

指定管理事業では、男女平等参画推進センターの自主事業として開催した「ヨガ講座」に約 100 人の方々が参加され、利用者の拡大を目的とした P R と併せてサークルの活性化や、自主事業の内容充実や参加率向上に向けての取り組み等を行いました。